

# 施餓鬼供養申込書

和歌山県高野山(郵便番号六四八〇九九)  
 別格本山 西 室

電話番号(〇七三六)五六二二五  
 振替〇〇九〇〇一三一二二四五〇番



第 号

御住所(くわしくハッキリお書きください)

御姓名

Tel

機械に通しますので切ったり貼りつけたりしないでください  
 追加分等は便せん等(A4サイズを希望いたします)に同じ要項を書いてお送り願います  
 法名、年月日を御記入ください。

名 法	名 法	名 法	名 法	名 法
俗名	俗名	俗名	俗名	俗名
年	年	年	年	年
月	月	月	月	月
日没	日没	日没	日没	日没
行年	行年	行年	行年	行年
才	才	才	才	才
霊	霊	霊	霊	霊

御志納金

円也

施餓鬼廻向証の要・不要をお申し出下さい  
 廻向の証 要 ・ 不要 (〇印をおつけ下さい)

## お盆の御案内

拝啓 暑さ厳しき折柄益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

今年も亦お盆が近づいて参りました。

当院でも来る 八月七日より十五日迄 恒例に依りお盆の施餓鬼法会を修行致します。貴家又は御知人の方で施餓鬼法会御希望の御精霊がありましたならば御記入御申込み下さい。平素よりお預かり申し上げます。お盆の精霊と共に孟蘭盆会の法要をおつとめ申し上げます。お施餓鬼の供養料はお心のまゝにお納め下さい。

先は暑中御見舞を兼ね孟蘭盆施餓鬼法会御案内申し上げます。

## お施餓鬼の因縁

今を去ること凡そ三千年前、仏在世の頃お弟子に目蓮尊者と謂ふ方がありました。あるとき神通力を以て亡くなつた母親は十界のうち何れへお生れになつて居るのであるうかと御覧遊ばすと、実にみるにさへ堪えられぬ悲惨な瘦せ衰へた身體となつて、食るものは悉く火と化して口を焼きただらす餓鬼道に苦しみ悲しみ叫びもがいて居られましたので尊者の力では何うすることも出来ませぬので早速仏のもとへ走つてお出でになつて母の救はれるようお願いなされました。その時仏は、七月十五日『旧暦』に出来るだけ多くの出家にお経をあげて貰いなさい。そして叮嚀に布施供養等をしなさい。そうすれば必ず救助するであろうと仰せられました。

孝心の深い尊者は仏の教えの通りに遊ばしたので、遂に母親は天上界に生まれ変わりました。かゝる因縁から毎年(旧暦)七月十五日に祖先のため孟蘭盆会の供養ができるようになりました。高野山では毎年八月七日(旧七月)から七日間は不断経と謂つて絶間なくお経を誦じ、亡者追福の秘法を修し孟蘭盆会の施餓鬼法会が最も大切にとり行はれてるのであります。